

次なる茨木DX。



茨木市では、ICTが急速に進展する中、それらを活用した市民サービス向上の取組を順次進めてきましたが、新型コロナにより、その取組のさらなる加速化が求められています。

本市では、こうした状況を、市民の暮らし、行政のあり方等を変革する契機と捉え、「デジタル技術を通じて社会・経済・生活等をより良い方向へ導くこと」とされている、[DX（デジタルトランスフォーメーション）](#)を今まで以上に加速させ、With・Afterコロナを見据えた「次なる茨木」への歩みを進めます。

その推進にあたりましては、本市ICTビジョンに基づきあらゆる分野において取組んでいく中で、まず第一段階として、次に掲げる3つの分野を、重点的に取組みます。

重点的取組分野

次なるDX ① 行かなくてもいい市役所

ICTの徹底活用により、時間や場所にとらわれない行政手続きを実現します。

次なるDX ② 暮らしのデジタル化

子ども一人ひとりに合わせた教育環境の実現や、平時にも災害時にもICTを活用した環境を整備します。

次なるDX ③ スマート行政経営

Web会議、RPAの活用など、職員の働き方もデジタルに変革することで業務の効率化を進め、市民サービスをさらに向上させます。

情報格差への配慮

DX推進にあたっては、ICTを使いこなすことが困難な方に配慮した施策についても、併せて取組んでいきます。

DX推進クロスファンクショナルチーム(CFT)

ICTを活用した変革は、行政のあらゆる分野で必要となることから、全庁的なチームを立ち上げ、市役所が一丸となってDXを推進します。

また、外部の民間人材の力もチームに加え、強力に推進します。

推進ロードマップ

「次なる茨木DX」は、ICTビジョンに基づく取組のうち重点的に取組む分野を示しており、マイナスをゼロに導く「問題解決」からスタートし、ゼロをプラスに導く「価値創造」へと取組を進め、誰もが豊かさ、幸せを実感できる魅力あるまちをめざします。

今回の重点的取組分野

市民⇄行政DX

- ・ 行政手続きオンライン化
- ・ 教育ICT化の推進
- ・ キャッシュレスの拡大
など

行政内部効率化DX

- ・ ICTツールの徹底活用
- ・ ペーパーレス化の推進
- ・ テレワークの推進
など

次なる茨木へ。

ICTを活用し、「新技術×地域課題」による価値創造につながるDXの取組を進め、誰もが公平で公正な対話と議論に根差した、健やかに活躍できる社会である「豊かさ、幸せが実感できるまち」へ。

ICTを使いこなすことが困難な方への支援（継続取組）